

## 2022年11月10日 第12回『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 松尾 豊

- 労働移動の円滑化を進めるために国を挙げてリスキリングを行う必要がある。  
 その際に重要なことは、現状の産業構造に依存したプログラム構成ではなく、**日本の将来の競争力をあげることに繋がるスキル、即ち AI を含むデジタル関連のスキルアッププログラムを投資の対象とすることである。**
  - 基礎資料 p.15 で指摘されているデンマークの職業訓練プログラムは、1960 年から続くもので、当初は“unskilled worker”のサポートを目的としたものだが、本資料内ではこのプログラムの課題点として「現状のデンマークの職業訓練は、今やっている仕事を続けていくためのスキル向上を目的としたプログラムが多いが、グローバル化とテクノロジーの進化に対応して新しい職業に就くことを支援するプログラムへと転換すべき」と述べられている。
    - ◇ 出所：Anders Humlum and Jakob R. Munch 2019 “Globalization, Flexicurity and Adult Vocational Training in Denmark” in “Making Globalization More Inclusive Lessons from experience with adjustment policies” (WTO): p.17 等
  - 欧州職業訓練開発センター(Cedefop)が 2020 年 10 月に発行した資料によると、デンマークの VET system (Vocational education and training system=職業訓練プログラム) では、VET プログラムを提供するスクールに対して、AI を含む ICT 技術をプログラムに組み込むためのサポートを政府が実施していることが述べられている。これは、2019 年に策定された AI 国家戦略に基づく取組でもある。
    - ◇ 具体的には、2019 年には VET スクールにおけるデジタル化をサポートする ICT 活用センターの設立、職業訓練生がデジタル技術を学ぶことができる 9 のナレッジセンターの設立、VET スクール向けの新しい科目「ビジネス・インフォマティクス」の開発、等
    - ◇ 出所：Cedefop ReferNET Denmark 2020, VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING FOR THE FUTURE OF WORK DENMARK: p.11, p.15,p.19,p.23 等
  - デンマークでは、VET で AI を含むデジタル教育を行うことで、Industry 4.0 が実現する未来に向けて、労働者全体のデジタルスキルの強化を目指している。
    - ◇ Industry 4.0: 商品・サービスの生産・供給方法の新しい手法のメタファー(上記の Cedefop レポートにおける定義)
  - 日本でも同様に、AI やデジタルスキルの育成のための戦略を策定し、それを反映する形でリスキリングプログラムを構築すべきである。
    - ◇ 現状の職業の延長線上にあるスキルを育成したとしても、グローバル化/デジタル化していく社会で活躍できる人材育成にはなりえない。

- 現状のリスキングの問題点として、教育プログラムの評価基準があいまいで、本当に意味のあるプログラムに資金が投資されていない現状がある。これを改善するために、**教育効果を測定できる指標を設定することが望ましい。**
  - 具体的には、教育プログラムの提供者側も受講者側も、補助金の獲得のために簡易なプログラムを提供/受講してしまう傾向があると思われる。
  - 本当に意味のあるリスキングを行うためには、教育プログラムの効果を客観的に測定し、その結果に応じて補助金を支出するような仕組みの構築が必要である。
  - 参考になる事例として、前述のデンマークの VET では、各スクールごとに学生数、修了数、雇用率、満足度を計測しており、このような数値目標を計測することは意味があると言える。
    - ◇ 出所：Cedefop ReferNET Denmark 2020, VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING FOR THE FUTURE OF WORK DENMARK: p.16